



PERSOL

Power BIの取り組みについて

2023年6月

パーソルキャリア株式会社

テクノロジー本部

インフラ基盤統括部

データ共通BITA部

BI推進グループ

アジェンダ

■ 初めに：チーム紹介 & 自己紹介

- ・ 会社概要
- ・ チーム紹介
- ・ 自己紹介

■ Power BI 取り組みの歴史

- ・ 概要
- ・ 立ち上げ期
- ・ 利用拡大期
- ・ 運用 & 展開模索期（現在）
- ・ 最後に

初めに：チーム紹介&自己紹介

会社概要



社名	パーソルキャリア株式会社
本社	東京都千代田区
創業	1989年6月
資本金	1,127百万円
事業内容	人材紹介サービス、求人メディアの運営 転職・就職支援、採用・経営支援サービスの提供
従業員数	5,756名 (有期社員含む グループ会社出向中の者は除く 2023年3月1日時点)

チーム紹介

『テクノロジー本部 インフラ基盤統括部 データ共通BITA部』

- データ基盤（分析/BI/AI）を整え、
データ活用（BI/AI）の高度化・推進を担うデータ専門組織

【体制】

AI推進グループ

- 事業部の業務支援として、各種データ分析やAIを利用した業務改善
- レコメンド基盤のロジック開発
- AI活用の社内普及
- 研修やPoCなどを通して技術力強化

BI推進グループ

- 分析/BI基盤のシステム運用、改善、セキュリティ対策
- 各事業と連動してBI利活用推進（データ整備、レポート構築など）
- 分析/BIにおける社内カスタマーサポート

運用保守

- 運用保守（問い合わせ、障害対応、開発、各種プロジェクト支援）

自己紹介

名前(年齢) : 小松 一也 (46歳 : 入社5年目)

社内でのミッション : 全事業部のBI活用推進

過去経歴 : ◆20代前半 = 中京大学 & 大学院 (愛知県) で心理学を専攻【6年】

◆20代後半 = リサーチ会社でアンケート調査業務に従事【4年】

◆30代 = ICT事業会社でBI導入関連業務に従事【10年】

※QlikView (10年)、Power BI (4年)、Tableau (2年)

前職業務 : ◆プリセールス (提案～ネゴシエーション～受注)

◆BIレポート開発 (要件定義や改善提案含めて)

◆トレーニング講師 / アドバイザー

モットー : 社員の方々にはたらいて、笑ってもらうこと

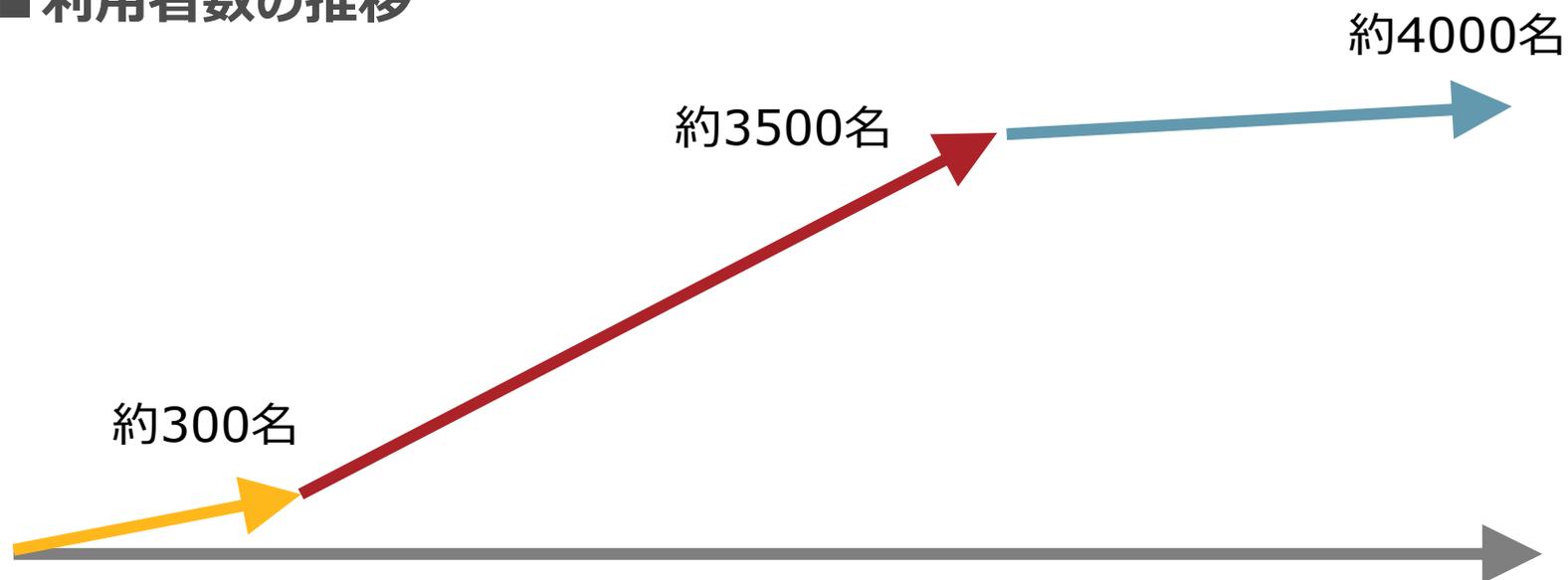
(BIツールを使うことで、アハ体験をしてもらうことを目指しています)

Power BI取り組みの歴史

概要



■ 利用者数の推移



立ち上げ期



■ Power BI 取り組み内容

- ・導入を承認してもらうための情報調査・検証

導入承認！

- ・環境構築
- ・特定部署への利用支援

利用効果あり！

利用拡大期へつづく

追い風

- ・Dynamics 導入済み
- ・Power BIのライセンス無料

定期情報共有会（2か月に1回）
Q&A対応

利用拡大期



■ Power BI 取り組み内容

・利用者増加に向けた施策の実施

利用者増加！

全社員向けセミナー（適宜）
全事業部飛び込み営業
事例共有会

・利用者育成に向けた施策の実施

利用者増加！

定期情報共有会（2か月に1回）
定期勉強会 ※少人数向け
常駐支援（1組織数ヵ月）
Q&A対応

利用者が
利用者を
呼ぶ！

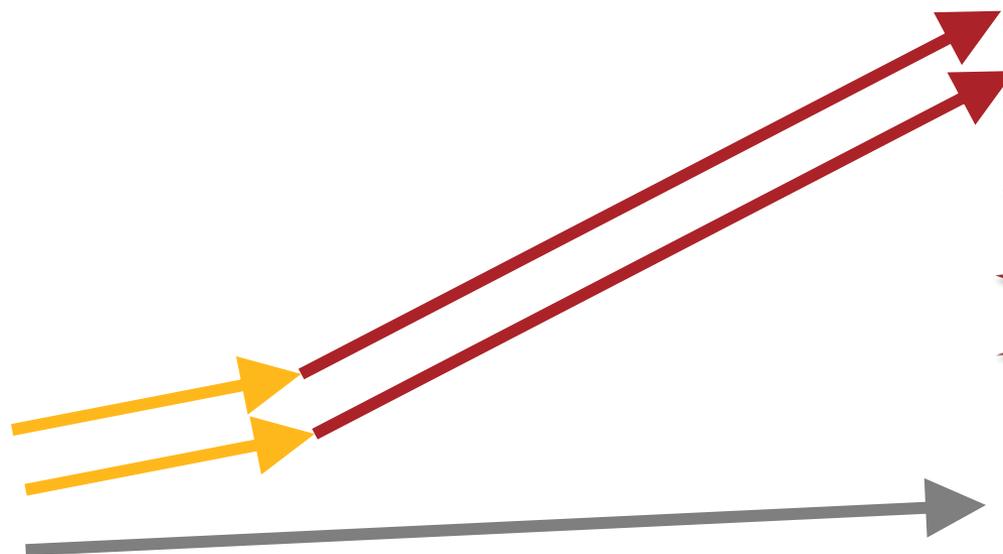
だんだんとほころびが...

雲行きが
怪しくなってきた

利用拡大期



■ ほころびとは



- 利用者数の推移
- 問合せ・相談数の推移 (クレーム含む)



- 対応人員数の推移
- 施策活動のウェイト

【現在】
全社員向けセミナー→停止
全事業部飛び込み営業→停止
事例共有会→次回開催未定

定期情報共有会→停止
定期勉強会→停止
常駐支援→PJT単位で継続
(育成観点は低下)
Q&A対応→対応継続

運用&展開模索期

6年前～

5年前～1年前

～現在

立ち上げ期

利用拡大期

運用&展開
模索期

■ Power BI 取り組み内容

課題

- ・データ量/レポート量増加
→システム過負荷
→(リスク) **処理遅延/停止**
- ・利用部署増加
→対応リソース超過
→(リスク) **管理漏れ**
- ・利用者(初心者)増加
→対応リソース超過
→(リスク) **業務遅延**

取り組み

- ・データ/レポートの標準化&汎用化
(適宜作る→あるものを使う)
- ・データ/レポートの棚卸
(使っていないデータ/レポートは削除)
- ・システムの処理向上施策

- ・管理ルールの見直し
(ロール権限とかワークスペースとか)
- ・コミュニケーション方法の見直し

- ・情報検索ツールの作成/改修
(情報サイト、データカタログ等)
- ・コミュニケーション方法の見直し

最後に



現在、各事業部の企画部署やレポート担当者も巻き込みながら、取り組みを進めていますが、悩みどころも多い状況です。

今回、各社様の取り組みから知見を得たいと思っていますので、ディスカッションや懇親会にて、意見交換させていただけますと幸いです。

EOF